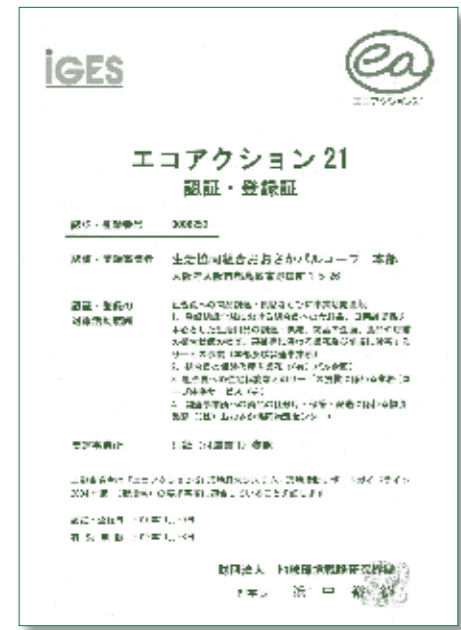


# 環境マネジメントシステムを活かして 事業をすすめています ~ISO14001からエコアクション21へ~



2010年10月  
現地審査を受けました

パルコープは1999年から環境マネジメント監査制度を導入し、2001年ISO14001を取得、事業を通じて環境活動に取り組んでいます。今年、活動の活性化を目指して「エコアクション21」に変更しました。

## ■環境認証を エコアクション21へ変更

ISO 14001の継続的な取り組みは、パルコープ組織内に環境マネジメントシステムを浸透、定着させ、安定した環境負荷軽減につながることができています。今年、パルコープ組織内の活動の活性化を目的に、外部認証を日本の環境省が策定した「エコアクション21」に変更しました。これまでの活動が評価され11月29日に認証・登録されました。

## ■環境マネジメントシステム 活動状況

◎法規制等の順守状況では2010年度環境に影響を及ぼす事故・緊急事態の発生はなく、法律、法令、その他の要求事項に関する違反もありませんでした。

◎内部監査は6月に実施し、継続的に改善が進んでいると認められました。

## 環境方針

### 基本理念

おおさかパルコープは、持続的発展を可能とする循環型社会の実現を目指し、環境問題を根源的な課題と位置付け、組合員とともに環境保全活動に積極的に取り組みます。

### 基本方針

おおさかパルコープは、組合員を対象とした食料品などの商品供給事業及び共済、福祉事業や旅行、チケット、暮らし関連などのサービス事業を行っています。こうした事業活動から発生する環境に大きな影響を及ぼす項目について、技術的かつ経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定めて取り組みます。その中で事業を取り巻く環境の変化に応じて目的・目標を見直していきます。特に環境に関する法令、条例、おおさかパルコープが受け入れを決めたその他の要求事項を遵守します。その他、環境負荷の軽減と汚染の予防、生物多様性の保全への配慮、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

1. 環境に配慮した商品の取扱いと普及をすすめます。
2. 地球温暖化防止のためCO<sub>2</sub>排出量を供給高1億円当たりの原単位で維持削減します。
3. 省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクル、グリーン購入に取り組みます。
4. 組合員による環境活動を積極的に支援し、持続的発展を可能とする循環型社会構築に向けた社会的活動に広範に取り組みます。
5. 以上の活動を進めるために、職員に対する環境教育と環境コミュニケーションを積極的にすすめます。

この環境方針はおおさかパルコープの内外に公開するとともに、環境活動の取り組みの状況について定期的に公表します。

2001年7月21日制定  
2009年2月24日改定  
生活協同組合おおさかパルコープ  
理事長 山本 邦雄

# 環境マネジメントシステム2010年度目標達成状況

評価 ◎:達成 ○:実施 △:未達成

部署	環境目標	活動	実績	評価
共同購入本部・運営	CO <sub>2</sub> 排出量を原単位（供給1億円あたり）で02年度（7.12）対比維持削減	イレギュラー配送の削減、供給高目標の達成	4.9	◎
共同購入本部・コールセンター	①少ない経費で高品質のコールセンター実現 ②配送センターが効率的に課題に取り組めるように後方支援の電話かけ実施	①組合員サービスセンターの移設 ②電話注文センターでのアウトバウンドの再開	—	○
店舗本部・商品	店舗惣菜等で出ている廃油の燃料化	店舗で出ている廃油を物流業者へバイオディーゼル燃料として使っていただく。数量把握を行う	年間 25kL	◎
店舗本部・運営・商品企画	供給高を伸ばし、効率を向上させることで原単位での排出量削減につなげる供給高 102%	来店人数を伸ばし、より利用しやすい売場作りを進める	103.2%	◎
	ごみの排出量を削減し、環境負荷を軽減させる廃棄率は前年実績（2.0%）を上回らない	閉店時在庫基準により、在庫管理を強化し、廃棄となる商品の金額、数量を調整する	1.6%	◎
商品本部・共同購入	農業・肥料の総量削減を目的にパル独自認証（ハート栽培）商品を拡大させていく 09年度実績対比 102%（昨年 188品目）	産地に独自認証（ハート栽培）の取組を理解してもらおうべく、普及活動を継続させる	183品目 97.3%	△
サービス事業	09年度対比 95%以上にする。 （布団打直し・丸洗い・羽毛リフォーム）	年間 11 回の宣伝を行い、周知徹底	107.8%	◎
商品検査室	検査を通じて、人への危害発生を予防し、基準順守の徹底を進める	供給前（取扱い前）検査を重視し進めます。検査数把握などは運用管理とする	—	○
	重大商品事故、クレーム、トラブルの削減	重点管理先の設定と訪問点検活動、クレーム発生単位毎の取引先・産地への品質管理改善指導	—	○
	農業、化学肥料の削減	毎月の「ハート栽培確認委員会」の開催と継続的な産地訪問と状況把握	—	○
システム経理部	情報の保管方法や伝達方法を見直し、印刷量の削減を行う	紙使用量削減（105,000枚/月以下）	85,000枚	◎
	月次決算を25日確定、2日以内に各事業所でペーパーレスで予算・経費明細を見れるようにする	経費関連情報の事業所発信データを2日後2日以内にデータベースに取り込む	—	○
福祉事業部	福祉用具レンタル利用者を増やし、用具廃棄の削減をめざす。年間 2,928名	医療生協など他団体への働きかけなど宣伝の強化	3,071名	◎
物流部	枚方物流センターの電力使用量の増加を抑制する通過点数1点あたり09年度比100%を維持する	作業生産性アップ、省電力の取り組み	96.5%	◎
	商品期限切れロスを管理する廃棄袋数09年度比100%を維持する	予備数削減・最終ピース納品実施・在庫商品の活用	74.9%	◎
	余計な商品の発注防止のためピッキングミス率を削減する。ピッキングミス率10万点分の5点以内	月次実績を発表しチームごとで改善案を出す	6.0	△
人事総務部	シッパーリサイクル率75%、内袋回収量3.3トン/月とする	購入量と処理量を把握するお知らせ・啓蒙活動に取り組む	100% 3.25トン	◎ △
	新築物件時、環境配慮項目の推進	設計時の反映と配慮項目のリスト作成	—	○
	残業管理で職員健康維持・水光熱使用量の抑制	各所属長への残業データ提供	定期的に報告	○
理事会室	太陽光発電の運用	定時のデータ測定、報告	定期的に報告	○
	燃費改善装置の導入、推進	実績検証、導入促進	—	○
	一日エコライフチャレンジ、NO <sub>2</sub> 測定、エコポイントサークル活動、省エネチャレンジ・チェックノートの取り組みを組合員に呼びかけ広げていく紙の使用量を減らす取り組みを継続します	①一日エコライフチャレンジ参加の呼びかけを各地域に行ないます②大気汚染測定活動をNO <sub>2</sub> 測定カプセルを使って実施③省エネチャレンジ・チェックノートの募集を実施④廃紙の量を昨年度比96%に削減	—	○
教育推進部	ファイリングシステムの導入を行い部内資料の整理整頓を行ないます	ファイリングシステムの導入を行い部内資料の整理整頓を行ないます	—	○
	車両事故削減130件までに抑える	研修を継続し、運転技術の向上、事故削減につなげる	150件	△
パル企画	アフラック「e-App」と「エコ申込み」による契約の推進（契約率35%）	新規訪問時の保険説明をパソコンの活用により実施	32.3%	△
	アフラック契約書の不備率を10%以下に減らす	学習と事務チェックの強化（複数による確認）	15.2%	△
	自動車保険の新規・更改契約時における「ネット契約」の推進 契約21件/年	第二四半期よりつき1件の実験実施を行う	50件	◎
コープ住宅サービス	レンタルモップの利用定着を図り、前年比97.0%以上を目指します（目標115,761点）	レンタルモップの柄『無料企画』を年に3回企画し、利用普及を図る	116,063点	◎